

授業科目名	日本語授業実践演習	単位数	1単位
担当教員名	遠藤みどり・奥元さえ美・中野二郎・山本晃彦	担当形態	オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)	本科目は日本語教育現場に則した指導内容であり、日本語教育現場、日本語教師養成経験のある教員が実践的な視点から様々な教授法を用いて指導する。		
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
この授業では、教育実習全体を振り返り、客観的に自己及び他者の授業や教え方を分析し、改善方法を考えることにより、教育実習での体験終了後、各自がそれぞれの現場で生かしていく指針としたい。			
授業の概要			
教育実習での振り返りを行うことで、実習前には見えてこなかった新しい視点から自分の授業を分析することができる。外国人学習者を前に授業を行い、直に接してこそわかることがある。これは実習後にしか味わえない授業である。教師は常に柔軟に対応する力が求められる。そのために授業を行った後の振り返りというものが大切になってくる。振り返りにより、自身の授業の見直し、改善を図り、今後に活かせることを目標とする。			
授業計画			
第1回：教え方を振り返ること・教え方を改善する必要性① 実習時の異文化交流への適応・受容、日本語学習、日本語教育の情動的側面、中間言語分析、異文化コミュニケーション、コミュニケーション教育、異文化調整能力等の視点から 第2回：教え方を振り返ること・教え方を改善する必要性② 日本語教師としての資質・能力の視点から 第3回：教え方を振り返ること・教え方を改善する必要性③ 日本語教育プログラムの理解と実践について、目的・対象別日本語教育法の視点から 第4回：教え方を振り返る方法・教え方を改善する方法 第5回：教え方を振り返る方法① 教育実習日誌を使用する 第6回：教え方を振り返る方法② 学習者からの事後アンケートを活用する 第7回：教え方を振り返る方法③ チェックリストを活用する 第8回：教え方を振り返る方法④ 授業の録画データの確認、その文字化を行う 第9回：教え方を振り返る方法⑤ 教師からの授業観察シートを活用する 第10回：教え方を改善する方法① 作成した教案・教材を見直す 第11回：教え方を改善する方法② 他の教員からの客観的意見を受け入れる（受容・理解能力、言語運用能力） 第12回：教え方を改善する方法③ 他の教員からの意見、学生アンケートを教案に入れる 第13回：教え方を改善する方法④ グループで一つのタスクを提示し、みんなで考える（社会文化能力、対人関係能力） 第14回：教え方を改善する方法⑤ みんなで出した意見をまとめて違った視点から見る（受容・理解能力） 第15回：まとめ（学んだことを整理し、今後に活かす方法を探る） 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
1日目に第1回～第9回まで、2日目に第10回～第15回までを実施する。			
事前学習：実習の際に作成した教案に基づき実習を振り返る 第1日目：フィードバック 第2日目：日本語教育実習全体のフィードバック			
テキスト			
『みんなの日本語初級Ⅰ』第2版 本冊 スリーエーネットワーク 著者：スリーエーネットワーク 編著 ISBN：9784883196036			
『みんなの日本語初級Ⅱ』第2版 本冊 スリーエーネットワーク 著者：スリーエーネットワーク 編著 ISBN：9784883196463			
参考書・参考資料等			
新・はじめての日本語教育1 [増補改訂版] 新・はじめての日本語教育2 [増補改訂版]			
学生に対する評価			
スクーリング評価（50%）、科目修得試験（50%）			